

教育学部 教育学科

I 履 修 方 法

1 卒業の要件

① 修業年限

修業年限を4年とする。

4年間で卒業の要件に定める単位を修得できない場合は年限を延長することができる。

ただし、在学年数は、休学期間を除いて8年を超えることはできない。

② 卒業までに修得すべき単位数

本学では授業科目を共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目の3つに区分しており、定められた履修方法に従って単位を修得し、この3区分を通して124単位以上を修得しなければならない。また、本学科では科目区分ごとに修得すべき最低単位数を設定している。

卒業単位数	科目区分	単位数	特記事項
124単位以上	共通教育科目	8 単位以上	1 共通教育科目は、『基礎教養科目群』の中の「自然科学科目」から2単位以上、『言語・情報科目群』の中の「情報リテラシー科目」から「データリテラシー・AIの基礎」（2単位・必修）を含めて修得すること。 2 下に掲げる表の外国語科目から合計8単位以上を含めて修得すること。
	基礎教育科目	81単位以上	
	専門教育科目		

外国語科目に関する卒業要件

卒業単位数	科目区分	科目名	単位数	備考
8単位以上	共通教育科目	言語・情報科目群(言語リテラシー科目)	科目による	選択
	基礎教育科目	英語 I	2	必修
		英語 II	2	必修
		外国語コミュニケーション I	1	選択
		外国語コミュニケーション II	1	選択
		TOEIC認定英語 I～IV	各2	単位認定
	専門教育科目	英語文学入門	2	選択
		保育英語	2	選択
		Conversation	2	選択
		Reading	2	選択
		Writing	2	選択
		MUSC Fieldwork	1	選択
		Music	1	選択
		Classroom English	1	選択
		Multicultural Communication	1	選択
		Art	1	選択

(注) 1. 学校図書館司書教諭課程科目、図書館司書課程科目の単位を修得した場合、合計で上限20単位まで卒業に必要な単位数に含める。

2. 基礎教育科目・専門教育科目の81単位の中には、卒業までに修得すべき科目や修得すべき単位数が指定されている。各コースごとの「必修」欄に従うこと。

2 取得できる学位 学士（教育学） ※（ ）内は専攻分野

3 履修登録単位数の上限（キャップ制）

履修した科目について十分な学修時間を確保し、学修した内容を真に身につけることを目的として、学科ごとに1年間及び1学期間に履修登録できる単位数の上限を年間50単位未満、1学期間25単位以下と定められており^(注1)、これを「キャップ制」という。上限の単位数を超える履修登録は認められない。ただし、資格課程科目^(注2)、学外の実習又は演習科目^(注3)、単位認定科目、再履修科目、卒業非算入科目（卒業要件単位に含まれない科目）は、キャップ制の対象となる科目に含まれないため、上限単位数を超えて履修登録することができる。

1年間及び1学期間に履修登録できる単位数に上限があるため、1年次から確実に単位を修得していくことが大切である。履修便覧には、卒業までに、どのような科目をどれだけ履修しなければならないか、資格取得に必要な科目や履修に関する注意事項等が記載されている。履修便覧を十分に読み、1年次からしっかりした履修計画を立てて履修登録を行うこと。

なお、2年次以上で履修登録時までの累積GPA^(注4)が3.00以上の学生は、当該学期については30単位まで履修登録することができる。

（注1）通年科目は単位数を半分に分割し、学期ごとに加算される。

（注2）学校図書館司書教諭課程科目、図書館司書課程科目を指す。下記4を参照のこと。

（注3）基礎教育科目・専門教育科目の科目形態欄に「外」と表記されている科目のことをいう。

（注4）累積GPAとは、入学時からの履修登録した科目のうち、卒業非算入科目を除く科目の成績の平均を数値で表したものの。

4 資格課程科目について

共通教育科目や基礎教育科目・専門教育科目とは別に、免許・資格を取得するために必要な講義や実習・演習といった授業科目を資格課程科目として開講している（下の①～②）。

① 学校図書館司書教諭課程科目 312頁参照

② 図書館司書課程科目 314頁参照

上記課程科目の履修については、学科担当教員の指示に従うこと。

II 共通教育科目・基礎教育科目・専門教育科目

1 共通教育科目

共通教育は、歴史的に蓄積された思想や学問について広く基礎を学び、変化が激しい現代社会において的確に判断できる知性及び知識、技能の修得、真摯な学びと実践を通じ、思いやりの心と豊かな感性を持つ自律的な個人の確立を目指している。

さらに、専門教育との有機的な連携に努力し、卒業後、様々な分野で社会をリードする女性を育成することを目的としている。

この目的のために、以下に示された5つの「MW教養コア」について、バランスのとれた学修と研鑽に努力すること。

MW 教 養 コ ア	1	人文、社会、自然の各分野における人間理解に関する広い知識と学ぶ態度の修得
	2	心身の健康のための運動習慣の形成と生命の尊さや倫理に関する知識・態度の向上
	3	ジェンダーの視点の理解と主体的な判断力・行動力の獲得
	4	自らの生涯にわたるライフデザインに資するキャリア形成能力の育成
	5	異文化を理解し、グローバルな視点で活躍するためのリテラシーと基礎知識の修得

なお、共通教育科目は、年度ごとに一部変更があるので、大学ホームページ上の共通教育サイトの当年度『開講科目一覧』に従って履修すること。

【注意】共通教育科目は再試験を行わない。

共通教育科目の構成

基 礎 教 養 科 目 群	人 文 科 学 科 目	言語、行動、習慣、知恵、思考さらには文学、歴史、芸術、哲学など人間の文化全般について学ぶ。それにより、人間とは何か、人間としていかに生きるべきか、人間の本質を考える力を養う。
	社 会 科 学 科 目	人間は集団・社会を形成し、その社会生活を営むために必要な生活習慣・様式、制度などが作られている。それらの成り立ち・仕組みを学び、それらに係る諸問題にも目を向け、よりよい社会を作り上げる力を養う。
	自 然 科 学 科 目	生命や身の回りの自然現象や自然の成り立ち、環境に着目し、検証結果を整理し、新たな法則・知見を導き出す過程を理解する。また自然観を広げ、真理追求に必要な客観的な考え方、論理的に展開する基礎を学ぶ。
	国 際 理 解 科 目	諸外国の文化、政治、経済の実情を知り、文化・価値観の多様性を学ぶ。また日本との比較などを通じ、国際協力や国際協調などグローバルな視点で物事・事象を捉える力を養う。
	現 代 ト ピ ッ ク 科 目	今まさに、国内のみならず全世界で話題となっている事象を取り上げ、様々な視点・観点からその価値を知り、考察を深める。
ジ ェ ン ダ ー 科 目 群		男女共同参画時代を迎え、過去から現在に至る性差に関わる諸問題について多面的に学修する。その中で、これまでの伝統的価値である「女らしさ」、「男らしさ」や性別役割分業観を問い直す。
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 科 目 群		自分を見つめ、自らの夢の実現のために、今何を学び、いかに自らの能力を伸ばすのかを考える。また社会人に必要なビジネスマナーやコミュニケーションスキルを磨き、企業の仕組みや職業などの知識を学ぶ。
言 語 ・ 情 報 科 目 群	言 語 リ テ ラ シ ー 科 目	英語、ドイツ語、フランス語、中国語、イタリア語、スペイン語、ハングルなどの各国語について「聞く」、「話す」、「読む」、「書く」という実践を通し「言語リテラシー」を修得する。
	情 報 リ テ ラ シ ー 科 目	情報機器を使って、様々な学習活動や社会生活で活用するための知識・技能など「情報リテラシー」を修得する。
健康・スポーツ 科 目 群	健康・スポーツ科学科目	健康の概念や健康を保つための知識（栄養・薬・病気の予防など）を学ぶとともに、運動（スポーツ）が心身に及ぼす効果・影響などを科学的に検証することにより、健康な身体を維持する考え方や方法を学ぶ。
	ス ポ ー ツ 実 技 科 目	様々なスポーツ実技を通して、その種目のルールや運動の特性を知り、身体を動かす楽しさや充実感を味わい、生涯にわたってスポーツを楽しむ能力と態度を養う。
大学・初年次ゼミ	学 び 発 見 ゼ ミ	様々なテーマについて、ゼミ仲間でのディスカッション、グループワーク、演習、プレゼンテーションなどを通じ、主体的に学び、関わる力を養う。

2 教育学科のカリキュラム

大学が掲げる立学の精神とMUKOGAWA COMPASSの人材育成方針に則り、平和で民主的な社会の形成者として幅広い教養と豊かな人間性を備えるとともに、多文化共生社会、地域共生社会、そして障がいの有無に関わらない共生社会の実現に寄与できる教育・保育を担える女性の育成を目的とする。

(1) コース編成

2年次より、各自の希望に基づいて「小学校教育コース」、「小学校・中学校教育コース（国語専修・英語専修）」、「乳幼児教育コース」という3つのコースを編成する。また、各コースには、専門性を高めるための各種プログラムと複数の基礎免許を取得するための専修を設定する。設定するプログラム・専修は、「小学校教育コース」には「幼児教育プログラム」と「特別支援教育プログラム」、「小学校・中学校教育コース」には「国語専修」と「英語専修」、「乳幼児教育コース」には「保育士プログラム」と「小学校教育プログラム」とする。また、すべてのコースに共通して2年次後期に「MUSC（武庫川女子大学アメリカ分校）留学プログラム」を設定する。

各コースで取得可能な免許資格は表1のとおりである。

表1. 取得できる免許・資格

コース		基礎免許	副免許・資格	その他の免許・資格		
				学校図書館 司書教諭 ^(注3)	図書館 司書	その他 ^(注4)
小学校教育コース		小学校教諭一種免許状	幼稚園教諭一種免許状 又は 特別支援学校教諭一種 免許状(知・肢・病) ^(注1)	○	○	○
小学校・ 中学校教 育コース	国語専修	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（国語）		○	○	
	英語専修	小学校教諭一種免許状 中学校教諭一種免許状（英語）		○	○	
乳幼児教育コース		幼稚園教諭一種免許状	保育士資格 ^{(注1)(注2)} 小学校教諭一種免許状 ^(注4)	○	○	

(注1) 特別支援学校教諭一種免許状及び保育士資格については、課程履修費の納入が必要である。

(注2) 保育士資格には100名の定員がある。

(注3) 学校図書館司書教諭の資格は、小学校・中学校のいずれかの教員免許状を取得することが前提となる。

(注4) 「乳幼児教育コース」の小学校教諭一種免許状及びその他の免許・資格の取得については、学科担当教員の説明に従うこと。

(2) コースの選択

コースの選択は、1年次後期に行う。1年生は、学科担当教員の指示に従って「コース選択届」を提出しなければならない。なお、コース決定後の変更は原則として認められない。

(3) 各コースにおける科目履修

各コースで開講される科目は、原則として各コースに所属する学生のみ履修することができる。また、所属する専修や履修している教職・免許課程によって履修を制限する科目がある。開講科目は所属クラスの標準時間割に従って履修することとする。

ただし、聴講や再履修などの理由により所属クラスで履修できない場合は、学科が指定する手続きを行うことで、他クラスでの受講を認めることがある。

聴講又は再履修は、下級学年の科目を履修することを原則とする。

なお、各コースで開講される「MUSC科目群」は2年次後期に実施されるMUSC（武庫川女子大学アメリカ分校）留学プログラム参加者のみ履修することができる。

① 小学校教育コース

小学校教育コースで開講される「教育実践科目群」は、小学校教諭教職課程履修者のみ履修することができる。

「幼児教育プログラム」に含まれる科目（１年次開講科目を除く）は、幼稚園教諭教職課程履修者のみ履修することができる。また、「特別支援教育プログラム」に含まれる科目は、特別支援学校教諭教職課程履修者のみ履修することができる。

② 小学校・中学校教育コース

小学校・中学校教育コースで開講される「中学校国語科教育科目群」に含まれる科目は国語専修に所属する学生のみ履修することができる。また、「中学校英語科教育科目群」に含まれる科目は英語専修に所属する学生のみ履修することができる。

「教育実践科目群」に含まれる「教育実習事前事後指導Ⅰ（小）」と「教育実習Ⅰ（小）」は、小学校教諭教職課程履修者のみ履修することができる。また、「教育実習事前事後指導（中）」と「教育実習（中）」は、中学校教諭（国語）又は中学校教諭（英語）教職課程履修者のみ履修することができる。

「教職実践演習」はいずれかの教職課程履修者のみ履修することができる。

③ 乳幼児教育コース

乳幼児教育コースで開講される「教育実践科目群」に含まれる「教育実習事前事後指導Ⅰ（幼）」と「教育実習Ⅰ（幼）」は幼稚園教諭教職課程履修者のみ履修することができる。また、「保育・教職実践演習」は幼稚園教諭教職課程又は保育士資格課程履修者のみ履修することができる。

「保育士プログラム」に含まれる科目は、保育士資格課程履修者のみ履修することができる。また、「小学校教育プログラム」に含まれる科目（１年次開講科目を除く）は、小学校教諭課程履修者のみ履修することができる。

(4) 免許・資格課程

① 各コースにおける免許・資格課程履修

幼稚園教諭一種免許状・小学校教諭一種免許状・中学校教諭一種免許状（国語）・中学校教諭一種免許状（英語）・特別支援学校教諭一種免許状（知・肢・病）・保育士資格の取得を希望する場合には、学科担当教員の指示に従って「課程履修願」を提出しなければならない。また、「課程履修願」提出後は、基礎免許の辞退は認められない。

課程履修の辞退をする場合には、「課程履修辞退願」を提出し、学科担当教員の承認を得なければならない。また、学科担当教員承認後は、速やかに学校教育センターに辞退願を提出しなければならない。なお、課程履修が履修条件となっている科目について、課程履修の辞退以前に修得済みの単位、又は履修登録済みの単位は卒業単位に算入するが、辞退以降の履修（聴講・再履修を含む）は認められない。

・小学校教育コース

基礎免許課程として小学校教諭教職課程を履修することができる。また、副免許課程として、幼稚園教諭教職課程、又は特別支援学校教諭教職課程のいずれか１つを履修することができる。

・小学校・中学校教育コース

国語専修と英語専修の2つの専修で編成され、専修によって履修できる教職課程が異なる。

国語専修では、基礎免許課程として小学校教諭教職課程と中学校教諭（国語）教職課程を履修することができる。

英語専修では、基礎免許課程として小学校教諭教職課程と中学校教諭（英語）教職課程を履修することができる。

・乳幼児教育コース

基礎免許課程として幼稚園教諭教職課程を履修することができる。また、保育士資格課程を履修することができる。ただし、保育士資格課程の履修定員は100名である。希望者が定員を超えた場合は、選考を行う。加えて、副免許課程として小学校教諭教職課程を履修することができる。履修については、学科担当教員の指示に従う。

② 各教職・資格課程の教育目標

・小学校教諭教職課程

「教科及び教科の指導法に関する科目」に位置づけられる各教科の「教材論」・「内容論」・「教育法」と「大学が独自に設定する科目」に位置づけられる各教科の「授業研究」を通して、充実した教科指導力を育成するとともに、教育に関わる幅広い専門的知識に基づいた教育実践を行うことができる小学校教諭の養成を目指す。

・中学校教諭（国語）教職課程

「教科に関する専門的事項」に位置づけられる各科目の学修を通して、国語学や国文学の専門的知識を習得し、それに基づいて授業を実践する力量を「各教科の指導法」に位置づけられる「中等国語科教育法」を通して育成する。併修する小学校教職課程での学修と合わせて、小学校と中学校のつながりを意識した国語科授業を行うことができる中学校教諭の養成を目指す。

・中学校教諭（英語）教職課程

「教科に関する専門的事項」に位置づけられる各科目の学修を通して、英語学や英語文学の知識や英語コミュニケーションの技能を習得し、それに基づいて授業を実践する力量を「各教科の指導法」に位置づけられる「中等英語科教育法」を通して育成する。併修する小学校教職課程での学修と合わせて、小学校と中学校のつながりを意識した英語科授業を行うことができる中学校教諭の養成を目指す。

・幼稚園教諭教職課程

「領域に関する専門的事項」と「保育内容の指導法」に位置づけられる各科目の学修を通して、幼稚園教育の5つの領域の充実した指導力を育成するとともに、教育に関わる幅広い専門的知識に基づいた教育実践を行うことができる幼稚園教諭の養成を目指す。

・特別支援学校教諭教職課程

「特別支援教育領域に関する科目」に位置づけられる各科目の学修を通して、免許状に定められることとなる特別支援教育領域の充実した指導力を育成するとともに、基礎免許となる小学校教職課程での学修と合わせて、特に小学校段階の充実した指導力をもつ特別支援学校教諭（知・肢・病）の養成を目指す。

・保育士資格課程

「保育の本質・目的に関する科目」や「保育の対象の理解に関する科目」に位置づけられる各科目の学修を通して、保育実践の基礎を育成するとともに、併修する幼稚園教職課程での学修と合わせて、教育・保育に関わる幅広い専門的知識に基づいた保育士としての力量形成を目指す。

③ 教員免許・保育士資格の取得基準

各種教員免許を取得するためには、「教育職員免許法」及び「教育職員免許法施行規則」に定められる最低単位を充足し、かつ、各種要件を満たす必要がある。（表2）

免許取得に必要な基礎資格は、以下のとおりである。

- ・各免許・資格とも本学卒業の要件を満たすこと。
- ・特別支援学校教諭一種免許状については、基礎免許として小学校の教員免許状を取得していること。

また、保育士資格を取得するためには「平成30年厚生労働省告示第216号」に定められる最低単位を充足する必要がある。

各種免許・資格に必要な科目履修と単位数については、56頁から66頁に示す各免許・資格の付表を参照すること。

表2. 免許状の種類と基礎資格及び法定単位数

免許状の種類	基礎資格	法定単位数											
		教職基礎科目				領域及び保育内容の指導法に関する科目	教科及び教科の指導法に関する科目	教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	大学が独自に設定する科目	特別支援教育に関する科目	介護等体験
		日本国憲法	体育	外国語コミュニケーション (注1)	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作 (注1)								
幼稚園教諭一種免許状	学士の学位を有すること	2	2	2	2	16	—	10 ^(注2)	4 ^(注3)	7	14	—	不要
小学校教諭一種免許状		2	2	2	2	—	30	10 ^(注2)	10 ^(注4)	7	2	—	要
中学校教諭一種免許状		2	2	2	2	—	28	10 ^(注2)	10 ^(注4)	7	4	—	要
特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）	学士の学位を有すること及び小学校、中学校、高等学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を有すること（注5）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	26 ^(注6)	不要

- (注1) 教職基礎科目「外国語コミュニケーション」(2単位)として、基礎教育科目「外国語コミュニケーションⅠ」「外国語コミュニケーションⅡ」を修得し、「数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作」(2単位)として、基礎教育科目「教育とICT」を修得すること。
- (注2) 幼一種免・小一種免・中一種免の「教育の基礎的理解に関する科目」として必要な単位は、本学では12単位である。
- (注3) 幼一種免の「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、本学では6単位である。
- (注4) 小一種免・中一種免の「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、本学では12単位である。
- (注5) 本学では、本学卒業の要件を満たし、小の教員免許取得とする。
- (注6) 特支一種免の「特別支援教育に関する科目」として必要な単位は、本学では27単位である。

④ 介護等体験について

小学校及び中学校教諭の普通免許状取得のための要件として所定の単位の修得以外に、法令により、介護等体験が義務づけられている(特別支援学校及び社会福祉施設で7日間以上)。教員免許状授与申請書には、「介護等体験終了証明書」を添付しなければならない。体験のためのスケジュールについては、*Student Guide-For Academic Studies*を参照すること。

なお、既に小・中・特支の教員免許状を授与されている場合、看護師・保健師・社会福祉士・介護福祉士等の免許や資格を有する場合、体験者自身が1級から6級の身体障害者として認定されている場合は、介護等体験を行う必要はない。

(5) 学外実習関係科目の履修について

学外実習関係科目には、履修要件と実施条件が定められている。履修の可否は大学が判定し、その結果は学科より通知する。

① 履修要件

判定時期までに所定の科目の単位を修得し、学科の定める要件を満たしていること。教育学科の定める要件は、表3のとおりである。

② 実施条件

履修要件を満たしたうえで、学外実習に行くまでに以下の条件を満たすこと。

- a) 実習前に開講される各実習に関する「教育実習事前事後指導」又は「保育実習指導」の授業に3分の2以上出席していること。ただし、「教育実習(中)」と「特別支援学校教育実習」を除く。
- b) 学校教育センターが実施する各実習に関する説明・実習事前ガイダンスのすべてに出席していること。
- c) 小児期の定期予防接種が終わっていない学生は、医療機関と相談のうえ、未接種のワクチン接種を受けておくこと。なお、実習に際しては、実習先の求めに応じ、大学が特定の感染症のワクチン接種を指示することがある。
- d) 「こども性暴力防止法」により、「初期演習Ⅰ」時に求めた「同意書」及び「誓約書」を提出していること。

表 3. コース別実習関係科目の履修要件

3-1 小学校教育コース

	教育実習Ⅰ（小） 教育実習事前事後指導Ⅰ（小）	教育実習Ⅱ（幼） 教育実習事前事後指導Ⅱ（幼）	特別支援学校教育実習 特別支援学校教育実習事前事後指導
履修要件		「教育実習Ⅰ（小）」の単位を修得していること	「教育実習Ⅰ（小）」の単位を修得していること
	基礎教育科目を実習前年度末までに7単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること
	専門教育科目を実習前年度末までに36単位以上修得していること	専門教育科目を実習前年度末までに54単位以上修得していること	専門教育科目を実習前年度末までに54単位以上修得していること
			専門教育科目のうち、特別支援学校教諭一種免許状取得に関わる科目の中から、実習前年度末までに10単位以上を修得していること
判定時期	実習前年度末	実習前年度末	実習前年度末

3-2 小学校・中学校教育コース

	教育実習Ⅰ（小） 教育実習事前事後指導Ⅰ（小）	教育実習（中） 教育実習事前事後指導（中）	
		国語専修	英語専修
履修要件	基礎教育科目を実習前年度末までに7単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること
	専門教育科目を実習前年度末までに36単位以上修得していること	専門教育科目を実習前年度末までに70単位以上修得していること	専門教育科目を実習前年度末までに70単位以上修得していること
		上2欄の単位数には、次のものを含めること。実習前年度末までに、免許状取得予定教科の「教科に関する専門的事項」を20単位以上、教科の教育法Ⅰ～Ⅳのうち6単位以上を修得していること	上2欄の単位数には、次のものを含めること。実習前年度末までに、免許状取得予定教科の「教科に関する専門的事項」を20単位以上、教科の教育法Ⅰ～Ⅳのうち6単位以上を修得していること
			学科の定める英語運用力の基準を達成していること。この詳細については、初期演習等で説明をする
判定時期	実習前年度末	実習前年度末	実習前年度末

3-3 乳幼児教育コース

	教育実習Ⅰ（幼） 教育実習事前事後指導Ⅰ（幼）	教育実習Ⅱ（小） 教育実習事前事後指導Ⅱ（小）	保育実習Ⅰ（保育所） 保育実習Ⅰ（施設） 保育実習指導ⅠB	保育実習Ⅱ 保育実習指導Ⅱ	保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅲ
履修要件		「教育実習Ⅰ（幼）」の単位を修得していること	「保育実習指導ⅠA」を修得していること	「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習指導ⅠB」の単位を修得していること	「保育実習Ⅰ（保育所）」「保育実習Ⅰ（施設）」「保育実習指導ⅠB」の単位を修得していること
	基礎教育科目を実習前年度末までに7単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに7単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること	基礎教育科目を実習前年度末までに10単位以上修得していること
	専門教育科目を実習前年度末までに36単位以上修得していること。	専門教育科目を実習前年度末までに54単位以上修得していること。このうち、教科の指導法3科目6単位以上を含めること	専門教育科目を実習前年度末までに36単位以上修得していること。このうち、保育士必修科目13単位以上を含めること	専門教育科目を実習前年度末までに54単位以上修得していること。このうち、保育士必修科目29単位以上を含めること	専門教育科目を実習前年度末までに54単位以上修得していること。このうち、保育士必修科目29単位以上を含めること
判定時期	実習前年度末	実習前年度末	実習前年度末	実習前年度末	実習前年度末

【備考】当該科目に開講期の変更などがある場合は、履修要件を満たすための最低修得単位数を増減する。

(6) 「教職実践演習」及び「保育・教職実践演習」の履修について

各種免許課程の最後の学期である4年次後期には、「教職実践演習」あるいは「保育・教職実践演習」が開講される。この科目は免許必修のまとめの科目であるため、次の履修要件が設けられている。

- ① 小学校教育コース、小学校・中学校教育コースの「教職実践演習」の履修要件
「教職実践演習」の履修までに、「教育実習Ⅰ（小）」の履修要件を満たしていること。
- ② 乳幼児教育コースの「保育・教職実践演習」の履修要件
「保育・教職実践演習」の履修までに次の a) b) のいずれかを満たしていること。
a) 「教育実習Ⅰ（幼）」の履修要件を満たしていること。
b) 「保育実習Ⅰ（保育所）」・「保育実習Ⅰ（施設）」の履修要件を満たしていること。

(7) その他の科目履修上の注意

- ① MUSC科目群について、最少催行人数に満たない場合は、不開講になる可能性がある。
- ② 「教育演習」、「卒業研究」の履修について
3年次開講の「教育演習」（通称3ゼミ）、4年次開講の「卒業研究」（通称4ゼミ）については、希望調査を行ったうえで担当教員を決定する。原則、2年間同じ担当教員のゼミで履修するものとする。詳細については別途指示する。
- ③ 「教職ファイル」について
1年次から「教職ファイル」を各自で作成する。担任の指導のもと、各自の学修を振り返り、教職課程の学修に活かすよう努めること。
記入した「教職ファイル」は「教職実践演習」あるいは「保育・教職実践演習」において使用する。
- ④ 「TOEIC認定英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」について
 - ・入学以前又は以後に、次の表に定めるTOEICスコアを取得した者は、その程度に応じて単位（一部又はすべて）を基礎教育科目として認定する。成績評価は「認」と表示する。
 - ・毎年度後期の最終授業日までに、国際センターへTOEICスコア証明書原本又はQRコードが印字されているデジタル公式認定証を提示し、「単位認定願」とともに提出すること。

表4. 「TOEIC認定英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の認定単位数

スコア	科目名				単位数	評価
500～595	TOEIC認定英語Ⅰ				2	認
600～695	TOEIC認定英語Ⅰ	TOEIC認定英語Ⅱ			4（各2）	認
700～795	TOEIC認定英語Ⅰ	TOEIC認定英語Ⅱ	TOEIC認定英語Ⅲ		6（各2）	認
800～990	TOEIC認定英語Ⅰ	TOEIC認定英語Ⅱ	TOEIC認定英語Ⅲ	TOEIC認定英語Ⅳ	8（各2）	認

(注1) TOEIC®L&R公開テスト、TOEIC®-IPテストを対象とする。IPテストは本学が実施したマークシート方式テストが対象で、オンライン方式テストは対象外。

(注2) 単位認定後、さらに上位のスコアを取得した場合は、認定されていない科目のみ認定される。

(注3) 2023年4月以降受験のTOEIC®L&R公開テストで申請する場合は、さらにTOEIC®申込サイトのスコア確認サービスを通してスコアの提出が必要。

3 基礎教育科目・専門教育科目

(1) 履修について

4年間で修得しなければならない単位数については、I履修方法で述べたとおりである。
ここでは教育学科において、4年間で履修できる基礎教育科目・専門教育科目を示す。

履修は原則として所属学科において開講されている科目についてのみ認められ、他学科の開講科目を履修することは認められない。また、履修上の制限や履修上留意しなければならないことがあり、それらを(注)として示してある。その注意事項を十分確認して誤りなく履修していくこと。

(2) 一覧表について

ア 科目番号について

科目番号は、その科目の学修の段階や順序、性質等を表し、教育課程の体系性が示されている。

(科目番号 付与ルール)

【教育学部 教育学科】

- 〈1〉 1科目につき1番号が付与されている。
- 〈2〉 先頭の番号は、入学年度の西暦の下2ケタを表す。
- 〈3〉 英字①は大学院博士(D)、大学院修士(M)、大学(U)、共通(G)を表す。
- 〈4〉 英字②③は所属(研究科、専攻科、学科、資格課程)を表す。
- 〈5〉 英字④は所属内のコースを表す。
- 〈6〉 数字①は履修基準年次(学年)を表す。
- 〈7〉 数字②は所属学科・コースにおける科目群/プログラムを表す。
- 〈8〉 数字③④は科目群/プログラム内の通し番号を表す。



英字④コース		数字②科目群/プログラム	
B	基礎教育科目	0	すべて
E	小学校教育コース	0	教育研究科目群
		1	教育学・心理学科目群
		2	共生教育科目群
		3	学校教育基礎科目群
		4	小学校教科教育科目群
		5	MUSC科目群
		6	教育実践科目群
		7	幼児教育プログラム
		8	特別支援教育プログラム
M	小学校・中学校教育コース	0	教育研究科目群
		1	教育学・心理学科目群
		2	共生教育科目群
		3	学校教育基礎科目群
		4	小学校教科教育科目群
		5	中学校国語科教育科目群
		6	中学校英語科教育科目群
		7	MUSC科目群
		8	教育実践科目群

英字④コース		数字②科目群/プログラム	
K	乳幼児教育コース	0	教育研究科目群
		1	教育学・心理学科目群
		2	共生教育科目群
		3	乳幼児教育基礎科目群
		4	幼児教育科目群
		5	保育科目群
		6	MUSC科目群
		7	教育実践科目群
		8	保育士プログラム
		9	小学校教育プログラム

イ 科目形態欄について

科目形態欄の記号は下記の意味を示す。

実	実験・実習・実技科目
外	学外での実習又は演習科目
論	論文・研究等

ウ 科目必修欄について

必	卒業するための必修科目
選必	卒業するための選択必修科目
国必	国語専修において卒業するための必修科目
英必	英語専修において卒業するための必修科目
国選必	国語専修において卒業するための選択必修科目
英選必	英語専修において卒業するための選択必修科目

エ 免許等必修欄について

幼	幼稚園教諭一種免許状取得のための必修科目
小	小学校教諭一種免許状取得のための必修科目
中国	中学校教諭一種免許状（国語）取得のための必修科目
中英	中学校教諭一種免許状（英語）取得のための必修科目
特	特別支援学校教諭一種免許状取得のための必修科目
保	保育士資格取得のための必修科目
(幼)	幼稚園教諭一種免許状取得のための選択必修科目
(小)	小学校教諭一種免許状取得のための選択必修科目
(中国)	中学校教諭一種免許状（国語）取得のための選択必修科目
(中英)	中学校教諭一種免許状（英語）取得のための選択必修科目
(特)	特別支援学校教諭一種免許状取得のための選択必修科目
(保)	保育士資格取得のための選択必修科目（専門科目）
*	教職課程上の「大学が独自に設定する科目」に含めることができる科目

オ 開講期について

表中の各年次、前・後期欄の下記記号は、その学期に開講されることを示す。

○	週1回開講
◎	週2回又は週1回2時限連続開講
○C	中央キャンパスだけで開講
○#	中央キャンパスだけで開講 MUSC（アメリカ分校）留学生に対しては集中講義として開講
○U	MUSC（アメリカ分校）だけで開講

小学校教育コース 小学校・中学校教育コース 乳幼児教育コース

初年次コース共通科目

	科目名称	単位数	形態	必修			免許等必修						第1年次	
				小学校教育	小学校・中学校教育	乳幼児教育	小学校	中学校(国語)	中学校(英語)	特別支援	幼稚園	保育士	前	後
基礎教育科目	初期演習Ⅰ	1		必	必	必							○	
	初期演習Ⅱ	1		必	必	必								○
	日本国憲法	2					小	中国	中英		幼	(保)	○	
	英語Ⅰ	2		必	必	必			中英			保	◎	
	英語Ⅱ	2		必	必	必			中英			保		◎
	教育とICT	2		必	必	必	小	中国	中英		幼	保	○	
	体育Ⅰ	1					小	中国	中英		幼	保	○	
	体育Ⅱ	1	実				小	中国	中英		幼	保		○
専門教育科目	教職入門	2		選必2 単位以上	選必2 単位以上	選必2 単位以上	小	中国	中英		*		○	
	保育者論	2									幼	保	○	
	教育社会学	2					*	*	*		*		○	
	教育心理学総論	2		必	必	必	小	中国	中英		幼	保		○
	発達心理学	2					*	*	*		*	保	○	
	共生社会論	2		(注1) 選必ア	(注1) 選必ア	(注1) 選必ア	*	*	*		*		○	
	子ども家庭福祉	2										保		○
	国際教育論	2					*	*	(中英)		*			○
	社会調査法	2					*	*	*		*			○
	特別支援教育総論	2		必	必	必	小	中国	中英		幼	保		○
	器楽基礎Ⅰ	1					*				*	(保)		○
	国語科内容論	1		必	必		小							○
	算数科内容論	1		必	必		小							○
	社会科内容論	1		(注1) 選必	(注1) 選必		小							○
	外国語科内容論	1		必	必		小							○
	日本語文法	2			国選必			(中国)						○
	英語文学入門	2			英選必		*		中英					○
	保育内容総論	2				(注1) 選必					幼	保		○

(注1) 選必の必要修得単位数については、各コースの必修欄を参照すること。

小学校教育コース

◆基礎教育科目

科 目		単位 数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
科目番号	科目名称				小	幼	特	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
26UEDB	1001 初 期 演 習 I	1		必				○							
	1002 初 期 演 習 II	1		必					○						
	1003 日 本 国 憲 法	2			小	幼		○							
	1004 英 語 I	2		必				◎							
	1005 英 語 II	2		必					◎						
	2006 外国語コミュニケーションI	1			小	幼				○					
	2007 外国語コミュニケーションII	1			小	幼					○				
	1008 教育とICT	2		必	小	幼		○							
	1009 体 育 I	1			小	幼		○							
	1010 体 育 II	1	実		小	幼			○						
	— TOEIC認定英語I	2													
	— TOEIC認定英語II	2													
	— TOEIC認定英語III	2													
	— TOEIC認定英語IV	2													

◆専門教育科目

科目一覧表(1)

科目群	科目番号	科目名称	単位 数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
						小	幼	特	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育研究	26UEDE	2001 基 礎 演 習	1		必						○					
		3002 教 育 演 習	2		必								○	○		
		4003 卒 業 研 究	4	論	必										○	○
教育学・心理学	26UEDE	2101 教 育 原 理	2		必	小	幼				○					
		1102 教 職 入 門	2		選必2 単位以上	小	*		○							
		1103 保 育 者 論	2				幼		○							
		1104 教 育 社 会 学	2			*	*		○							
		1105 教育心理学総論	2		必	小	幼			○						
		1106 発 達 心 理 学	2			*	*		○							
		3107 教 育 史	2			*	*							○		
		3108 教 育 哲 学	2			*	*							○		
		2109 教 育 行 政 学	2		必	小	幼					○#				
						*	*		○							
共生教育	26UEDE	1201 共 生 社 会 論	2		選必6 単位以上											
		1202 子ども家庭福祉	2							○						
		1203 国 際 教 育 論	2			*	*			○						
		1204 社 会 調 査 法	2			*	*			○						
		2205 人権教育と福祉	2			*	*				○					
		2206 異文化理解とコミュニケーション	2			*	*				○					
		2207 海外教育交流実践	1	外		*	*				○					
		2208 海外教育参加実習指導	1			*	*				○					
		2209 海外教育参加実習	2	外		*	*					○U				
		2210 教育フィールドワーク	1	外		*	*				(注1) ○	○C				
		3211 異文化間教育	2			*	*						○			
学校教育基礎	26UEDE	2301 教 育 課 程 論	2			小	*				○					
		2302 道徳教育の理論と実践	2			小						○C				
		2303 総合的な学習の時間の指導法	2			小					○					
		2304 特別活動の指導法	2			小						○C				
		3305 生徒指導・進路指導の理論と実践	2			小								○		
		3306 教育相談の理論と実践	2		必	小	幼							○		
		2307 教育方法の理論と実践	2		必	小	幼				○					
		4308 学 級 経 営 論	2			*									○	
		1309 特別支援教育総論	2		必	小	幼			○						
		3310 発達障害等教育総論	2			*		特					○			
		3311 データリテラシーと教育	2			*	*							○		
		3312 教育プログラミング	2			*								○		
		1313 器 楽 基 礎 I	1			*	*			○						
		1314 日 本 語 文 法	2							○						

科目群	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							小	幼	特	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
小学校教職教育	26UEDE	2401	国語科教材論	1			*					○					
		2402	算数科教材論	1			*					○					
		1403	英語文学入門	2			*				○						
		1404	国語科内容論	1		必	小				○						
		1405	算数科内容論	1		必	小				○						
		1416	外国語科内容論	1		必	小				○						
		1407	社会科内容論	1			小				○						
		2408	理科内容論	1			小						○C				
		2409	生活科内容論	1			小						○C				
		2410	音楽科内容論	1			小					○					
		2411	図画工作科内容論	1			小					○					
		2412	家庭科内容論	1			小					○					
		2413	体育科内容論	1			小						○C				
		3414	国語科教育法	2		必	小							○			
		3415	算数科教育法	2		必	小							○			
		2416	外国語科教育法	2		必	小						○C				
		3417	社会科教育法	2			小							○			
		3418	理科教育法	2			小							○			
		3419	生活科教育法	2			小							○			
		2420	音楽科教育法	2			小						○C				
		2421	図画工作科教育法	2			小						○C				
		2422	家庭科教育法	2			小						○C				
		3423	体育科教育法	2			小							○			
		3424	国語科授業研究	1			*								○		
		3425	算数科授業研究	1			*								○		
		3426	外国語科授業研究	1			*								○		
		3427	社会科授業研究	1			*								○		
		3428	理科授業研究	1			*								○		
		3429	生活科授業研究	1			*								○		
		3430	音楽科授業研究	1			*								○		
		3431	図画工作科授業研究	1			*								○		
		3432	家庭科授業研究	1			*								○		
		3433	体育科授業研究	1			*								○		
MUSC	26UEDE	2501	Conversation	2									○U				
		2502	Reading	2									○U				
		2503	Writing	2									○U				
		2504	MUSC Fieldwork	1									○U				
		2505	M u s i c	1									○U				
		2506	Classroom English	1									○U				
		2507	Multicultural Communication	1									○U				
		2508	A r t	1									○U				
教育実践 (注2)	26UEDE	3601	教育実習事前事後指導Ⅰ(小)	1			小	幼 ^(注3)						○	○		
		3602	教育実習Ⅰ(小)	4	外		小	幼 ^(注3)							○		
		4603	教職実践演習	2			小	幼 ^(注3)									◎

(注1)「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(注2)「教育実践科目」群は、小学校教諭教職課程履修者のみ履修可能である。

(注3)副免許として幼稚園教諭一種免許状を取得する場合、「教育実習事前事後指導Ⅰ(小)」「教育実習Ⅰ(小)」「教職実践演習」は幼稚園免許科目としても有効である。

科目一覧表(2)

	科目番号	科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
						小学校	幼稚園	特別支援	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
幼児教育プログラム (注 4)	1701	保育内容総論	2				幼			○						
	4702	子どもと健康	1				(幼)								○	
	3703	子どもと環境	1				(幼)							○		
	3704	子どもと人間関係	1				(幼)							○		
	4705	子どもと言葉	1				(幼)								○	
	4706	子どもと音楽表現	1				(幼)								○	
	3707	子どもと造形表現	1				(幼)							○		
	4708	子どもと身体表現	1				(幼)								○	
	3709	保育内容・健康	2				幼							○		
	3710	保育内容・環境	2				幼						○			
	3711	保育内容・人間関係	2				幼						○			
	3712	保育内容・言葉	2				幼							○		
	2713	保育内容・表現(音楽)	1				幼					○C				
	3714	保育内容・表現(造形)	1				幼						○			
	3715	保育内容・表現(身体)	1				幼							○		
	2716	教育課程・保育計画論	2				幼				○					
	2717	子ども理解と幼児教育	2				幼					○C				
	4718	教育実習事前事後指導Ⅱ(幼)	1				*								○	○
	4719	教育実習Ⅱ(幼)	2	外			*								○	(注 5) (○)

(注 4)「幼児教育プログラム」は、幼稚園教諭教職課程履修者のみ履修可能である。また、副免許として幼稚園教諭一種免許状を取得するには、科目一覧表(2)の科目に加えて、科目一覧表(1)中の幼稚園教諭免許に関する必修科目の単位を修得する必要がある。

(注 5) (○) の学期に開講されることがある。

科目一覧表(3)

	科目番号	科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
						小学校	幼稚園	特別支援	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
特別支援教育プログラム (注 6)	3801	特別支援教育基礎理論	2					特						○		
	2802	知的障害者の心理・生理・病理	2					特			○					
	2803	肢体不自由者の心理・生理・病理	2					特				○C				
	3804	病弱者の心理・生理・病理	2					特					○			
	2805	知的障害教育	2					特				○C				
	3806	肢体不自由教育	2					特					○			
	3807	病弱者教育	2					特						○		
	4808	知的・発達障害教育演習	2					特							○	
	3809	肢体不自由教育演習	2					(特)						○		
	4810	病弱者教育演習	2					(特)								○
	2811	視覚・聴覚障害教育総論	2					特			○					
	3812	重複障害等教育総論	2					特					○			
	(注 7) 4813	特別支援学校教育実習事前事後指導	1					特							○	○
	4814	特別支援学校教育実習	2	外				特							(注 8) (○)	

(注 6)「特別支援教育プログラム」は、特別支援学校教諭教職課程履修者のみ履修可能である。また、副免許として特別支援教諭一種免許状を取得するには、科目一覧表(3)の科目に加えて、科目一覧表(1)中の特別支援学校教諭免許に関する必修科目の単位を修得する必要がある。

(注 7)「特別支援学校教育実習事前事後指導」は、履修・成績処理において「特別支援学校実習事前事後指導」と表される。

(注 8) 実習先により、後期に実習期間が設定されることがある。

小学校・中学校教育コース

◆基礎教育科目

科 目		単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
科目番号	科目名称				小	中国	中英	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
26UEDB	1001 初 期 演 習 I	1		必				○							
	1002 初 期 演 習 II	1		必					○						
	1003 日 本 国 憲 法	2			小	中国	中英	○							
	1004 英 語 I	2		必			中英	◎							
	1005 英 語 II	2		必			中英		◎						
	2006 外国語コミュニケーションⅠ	1			小	中国	中英			○					
	2007 外国語コミュニケーションⅡ	1			小	中国	中英				○				
	1008 教 育 と I C T	2		必	小	中国	中英	○							
	1009 体 育 I	1			小	中国	中英	○							
	1010 体 育 II	1	実		小	中国	中英		○						
	— TOEIC 認定英語Ⅰ	2													
	— TOEIC 認定英語Ⅱ	2													
	— TOEIC 認定英語Ⅲ	2													
	— TOEIC 認定英語Ⅳ	2													

◆専門教育科目

科目群	科目番号	科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
						小	中国	中英	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育研究	26UEDM	2001 基 礎 演 習	1		必						○					
		3002 教 育 演 習	2		必								○	○		
		4003 卒 業 研 究	4	論	必										○	○
教育学・心理学	26UEDM	2101 教 育 原 理	2		必	小	中国	中英			○					
		1102 教 職 入 門	2		選必2 単位以上	小	中国	中英	○							
		1103 保 育 者 論	2						○							
		1104 教 育 社 会 学	2			*	*	*	○							
		1105 教育心理学総論	2		必	小	中国	中英		○						
		1106 発 達 心 理 学	2			*	*	*	○							
		3107 教 育 史	2			*	*	*						○		
		3108 教 育 哲 学	2			*	*	*						○		
共生教育	26UEDM	2109 教 育 行 政 学	2		必	小	中国	中英				○#				
		1201 共 生 社 会 論	2		選必6 単位以上	*	*	*	○							
		1202 子ども家庭福祉	2							○						
		1203 国 際 教 育 論	2			*	*	(中英)		○						
		1204 社 会 調 査 法	2			*	*	*		○						
		2205 人権教育と福祉	2			*	*	*			○					
		2206 異文化理解とコミュニケーション	2			*		中英			○					
		2207 海外教育交流実践	1	外		*	*	*			○					
		2208 海外教育参加実習指導	1			*	*	*			○					
		2209 海外教育参加実習	2	外		*	*	*				○U				
		2210 教育フィールドワーク	1	外		*	*	*			(注1) (○)	○C				
		3211 異文化間教育	2			*		(中英)					○			
学校教育基礎	26UEDM	2301 教 育 課 程 論	2			小	中国	中英			○					
		2302 道徳教育の理論と実践	2			小	中国	中英				○C				
		2303 総合的な学習の時間の指導法	2			小	中国	中英			○					
		2304 特別活動の指導法	2			小	中国	中英				○C				
		3305 生徒指導・進路指導の理論と実践	2			小	中国	中英						○		
		3306 教育相談の理論と実践	2		必	小	中国	中英						○		
		2307 教育方法の理論と実践	2		必	小	中国	中英			○					
		4308 学 級 経 営 論	2			*	*	*							○	
		1309 特別支援教育総論	2		必	小	中国	中英		○						
		3310 発達障害等教育総論	2			*	*	*					○			
		3311 データリテラシーと教育	2			*	*	*						○		
		3312 教育プログラミング	2			*	*	*						○		
		1313 器 楽 基 礎 I	1			*				○						
		1314 保育内容総論	2							○						

科目群	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							小	中国	中英	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
小学校教科教育	26UEDM	2401	国語科教材論	1			*	(中国)				○					
		2402	算数科教材論	1			*					○					
		1403	国語科内容論	1		必	小				○						
		1404	算数科内容論	1		必	小				○						
		1405	外国語科内容論	1		必	小				○						
		1406	社会科内容論	1			小				○						
		2407	理科内容論	1			小						○C				
		2408	生活科内容論	1			小						○C				
		2409	音楽科内容論	1			小					○					
		2410	図画工作科内容論	1			小					○					
		2411	家庭科内容論	1			小					○					
		2412	体育科内容論	1			小						○C				
		3413	国語科教育法	2		必	小							○			
		3414	算数科教育法	2		必	小							○			
		2415	外国語科教育法	2		必	小						○C				
		3416	社会科教育法	2			小							○			
		3417	理科教育法	2			小							○			
		3418	生活科教育法	2			小							○			
		2419	音楽科教育法	2			小						○C				
		2420	図画工作科教育法	2			小						○C				
		2421	家庭科教育法	2			小						○C				
		3422	体育科教育法	2			小							○			
		3423	国語科授業研究	1			*								○		
		3424	算数科授業研究	1			*								○		
		3425	外国語科授業研究	1			*								○		
		3426	社会科授業研究	1			*								○		
		3427	理科授業研究	1			*								○		
		3428	生活科授業研究	1			*								○		
		3429	音楽科授業研究	1			*								○		
		3430	図画工作科授業研究	1			*								○		
		3431	家庭科授業研究	1			*								○		
		3432	体育科授業研究	1			*								○		
中学校国語科教育 (注2)	26UEDM	2501	日本語表現Ⅰ	1				中国					○C				
		3502	日本語表現Ⅱ	1				中国						○			
		2503	日本語学概論Ⅰ	2				中国				○					
		2504	日本語学概論Ⅱ	2				(中国)					○C				
		1505	日 本 語 文 法	2				(中国)			○						
		3506	日本語の歴史	2				(中国)							○		
		3507	日本古典文学概論	2				中国						○			
		3508	日本近代文学概論	2				中国						○			
		4509	日本古典文学特講	2				(中国)								○	
		4510	日本近代文学特講	2				(中国)								○	
		3511	日本古典文学史	2				中国							○		
		3512	日本近代文学史	2				中国							○		
		2513	漢 文 入 門	2				中国				○					
		2514	漢 文 学	2				(中国)					○C				
		3515	書 道	2				中国						○			
		2516	中等国語科教育法Ⅰ	2		国必		中国				○					
		2517	中等国語科教育法Ⅱ	2		国必		中国					○C				
		3518	中等国語科教育法Ⅲ	2				中国						○			
		3519	中等国語科教育法Ⅳ	2				中国							○		

科目群	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							小	中国	中英	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
中学校英語科教育 (注 3)	26UEDM	1601	英語文学入門	2			*		中英		○						
		2602	英語学概論Ⅰ	2					中英			○					
		2603	英語学概論Ⅱ	2					(中英)				○C				
		3604	英語文法論Ⅰ	2					(中英)					○			
		3605	英語文法論Ⅱ	2					(中英)						○		
		3606	英語文学概論	2					(中英)						○		
		3607	外国語コミュニケーションⅢ	1					中英					○			
		3608	外国語コミュニケーションⅣ	1					中英						○		
		2609	ライティングⅠ	1					中英			○					
		3610	ライティングⅡ	1					中英					○			
		2611	リーディングⅠ	1					中英				○				
		3612	リーディングⅡ	1					中英					○			
		2613	中等英語科教育法Ⅰ	2		英必			中英			○					
		2614	中等英語科教育法Ⅱ	2		英必			中英				○C				
		3615	中等英語科教育法Ⅲ	2					中英					○			
		3616	中等英語科教育法Ⅳ	2					中英						○		
MUSC	26UEDM	2701	Conversation	2									○U				
		2702	Reading	2									○U				
		2703	Writing	2									○U				
		2704	MUSC Fieldwork	1									○U				
		2705	M u s i c	1									○U				
		2706	Classroom English	1									○U				
		2707	Multicultural Communication	1									○U				
		2708	A r t	1									○U				
教育実践 (注 4)	26UEDM	3801	教育実習事前事後指導Ⅰ(小)	1			小							○	○		
		3802	教育実習Ⅰ(小)	4	外		小								○		
		4803	教育実習事前事後指導(中)	1				中国	中英							○	○
		4804	教育実習(中)	4	外			中国	中英							(注 5) ○	
		4805	教職実践演習	2			小	中国	中英								◎

(注 1) 「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(注 2) 「中学校国語科教育」群は、中学校教諭教職課程(国語)履修者のみ履修可能である。

(注 3) 「中学校英語科教育」群は、中学校教諭教職課程(英語)履修者のみ履修可能である。

(注 4) 「教育実践科目」群は、(小)は小学校教諭教職課程履修者のみ、(中)は中学校教諭教職課程履修者のみ、「教職実践演習」は小中いずれかの教職課程履修者のみ履修可能である。

(注 5) 実習先により、後期に実習期間が設定されることがある。

乳幼児教育コース

◆基礎教育科目

科 目		単 位 数	形 態	必 修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
科目番号	科目名称				幼	保	小	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
26UEDB	1001 初 期 演 習 I	1		必				○							
	1002 初 期 演 習 II	1		必					○						
	1003 日 本 国 憲 法	2			幼	(保)	小	○							
	1004 英 語 I	2		必		保		◎							
	1005 英 語 II	2		必		保			◎						
	2006 外国語コミュニケーションI	1			幼	(保)	小			○					
	2007 外国語コミュニケーションII	1			幼	(保)	小				○				
	1008 教育とICT	2		必	幼	保	小	○							
	1009 体 育 I	1			幼	保	小	○							
	1010 体 育 II	1	実		幼	保	小		○						
	— TOEIC 認定英語I	2													
	— TOEIC 認定英語II	2													
	— TOEIC 認定英語III	2													
	— TOEIC 認定英語IV	2													

◆専門教育科目

科目一覧表(1)

科目群	科目番号	科 目 名 称	単 位 数	形 態	必 修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
						幼	保	小	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
教育研究	26UEDK	2001 基 礎 演 習	1		必						○					
		3002 教 育 演 習	2		必								○	○		
		4003 卒 業 研 究	4	論	必										○	○
教育学・心理学	26UEDK	2101 教 育 原 理	2		必	幼	保	小			○					
		2102 保 育 原 理	2			*	保				○					
		1103 教 職 入 門	2		選必2 単位以上	*		小	○							
		1104 保 育 者 論	2			幼	保		○							
		1105 教 育 社 会 学	2			*		*	○							
		1106 教育心理学総論	2		必	幼	保	小		○						
		1107 発 達 心 理 学	2			*	保	*	○							
		3108 教 育 史	2			*		*						○		
		3109 教 育 哲 学	2			*		*						○		
		2110 教 育 行 政 学	2		必	幼	保	小				○#				
共生教育	26UEDK	1201 共 生 社 会 論	2		選必6 単位以上	*		*	○							
		1202 子ども家庭福祉	2				保			○						
		1203 国 際 教 育 論	2			*		*		○						
		1204 社 会 調 査 法	2			*		*		○						
		2205 人権教育と福祉	2			*	(保)	*			○					
		2206 異文化理解とコミュニケーション	2			*		*			○					
		2207 海外教育交流実践	1	外		*		*			○					
		2208 海外教育参加実習指導	1			*		*			○					
		2209 海外教育参加実習	2	外		*		*				○U				
		2210 教育フィールドワーク	1	外		*		*			(注1) ○	○C				
		3211 異文化間教育	2			*		*					○			
乳幼児教育基礎	26UEDK	2301 教育課程・保育計画論	2			幼	保				○					
		2302 教 育 課 程 論	2			*		小			○					
		2303 教育方法の理論と実践	2		必	幼	保	小			○					
		2304 子ども理解と幼児教育	2			幼	保					○C				
		3305 教育相談の理論と実践	2		必	幼		小						○		
		4306 クラス経営論	2			*									○	
		1307 特別支援教育総論	2		必	幼	保	小		○						
		3308 データリテラシーと教育	2			*		*						○		
		1309 器 楽 基 礎 I	1			*	(保)	*		○						

科目群	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							幼	保	小	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
乳幼児教育基礎	26UEDK	3310	器 楽 基 礎 II	1			*	(保)						○			
		1311	日 本 語 文 法	2							○						
		1312	英語文学入門	2					*		○						
		4313	保 育 英 語	2			*	(保)								○	
幼児教育	26UEDK	3401	子どもと健康	1		選必5単位以上	(幼)	(保)						○			
		2402	子どもと環境	1			(幼)	(保)					○C				
		3403	子どもと人間関係	1			(幼)	(保)							○		
		3404	子どもと言葉	1			(幼)	保						○			
		2405	子どもと音楽表現	1			(幼)	保					○C				
		3406	子どもと造形表現	1			(幼)	保						○			
		3407	子どもと身体表現	1			(幼)	保							○		
		1408	保育内容総論	2		選必9単位以上	幼	保			○						
		2409	保育内容・健康	2			幼	保					○C				
		2410	保育内容・環境	2			幼	保				○					
		3411	保育内容・人間関係	2			幼	保						○			
		2412	保育内容・言葉	2			幼	保					○C				
		2413	保育内容・表現(音楽)	1			幼	保				○					
		2414	保育内容・表現(造形)	1			幼	保					○C				
		3415	保育内容・表現(身体)	1			幼	保						○			
保育	26UEDK	2501	社 会 福 祉	2				保					○C				
		3502	子ども家庭支援論	2				保						○			
		2503	社会的養護 I	2				保				○					
		2504	子ども家庭支援の心理学	2				保					○C				
		3505	子どもの保健	2				保						○			
		3506	子どもの食と栄養	2				保							○		
		2507	乳 児 保 育 I	2				保					○C				
		3508	乳 児 保 育 II	1				保						○			
		3509	子どもの健康と安全	1				保						○			
		3510	障 害 児 保 育	2				保							○		
		2511	社会的養護 II	1				保					○C				
		3512	子 育 て 支 援	1				保							○		
MUSC	26UEDK	2601	Conversation	2									○U				
		2602	R e a d i n g	2									○U				
		2603	W r i t i n g	2									○U				
		2604	MUSC Fieldwork	1									○U				
		2605	M u s i c	1									○U				
		2606	Classroom English	1									○U				
		2607	Multicultural Communication	1									○U				
		2608	A r t	1									○U				
教育実践 (注2)	26UEDK	3701	教育実習事前事後指導Ⅰ(幼)	1			幼		小 ^(注3)					○	○		
		3702	教育実習Ⅰ(幼)	4	外		幼		小 ^(注3)						○		
		4703	保育・教職実践演習	2			幼	保	小 ^(注3)								◎

(注1)「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(注2)「教育実践科目」群に含まれる「教育実習事前事後指導Ⅰ(幼)」と「教育実習Ⅰ(幼)」は幼稚園教諭教職課程履修者のみ履修可能である。

「保育・教職実践演習」は幼稚園教諭教職課程又は保育士資格課程履修者のみ履修可能である。

(注3) 副免許として小学校教諭一種免許状を取得する場合、「教育実習事前事後指導Ⅰ(幼)」 「教育実習Ⅰ(幼)」 「保育・教職実践演習」は小学校免許科目としても有効である。

科目一覧表(2)

	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							幼	保	小	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
保育士プログラム (注4)	26UEDK	2801	保育実習指導ⅠA	1				保					○#				
		3802	保育実習指導ⅠB	1				保						○			
		3803	保育実習Ⅰ(保育所)	2	外			保						○			
		3804	保育実習Ⅰ(施設)	2	外			保						○			
		4805	保育実習指導Ⅱ	1				保								○	
		4806	保育実習Ⅱ	2	外			保								○	
		4807	保育実習指導Ⅲ	1				(保)								○	
		4808	保育実習Ⅲ	2	外			(保)								○	

(注4) 保育士プログラムは、保育士課程履修者のみ履修可能である。また、保育士資格を取得するには、科目一覧表(2)の科目に加えて、科目一覧表(1)中の保育士資格に関する必修科目の単位を修得する必要がある。

科目一覧表(3)

	科目番号		科目名称	単位数	形態	必修	免許等必修			1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
							幼	保	小	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
小学校教育プログラム (注5)	26UEDK	1901	国語科内容論	1					小		○						
		1902	算数科内容論	1					小		○						
		1903	外国語科内容論	1					小		○						
		1904	社会科内容論	1					小		○						
		3905	理科内容論	1					小						○		
		3906	生活科内容論	1					小						○		
		2907	音楽科内容論	1					小			○					
		2908	図画工作科内容論	1					小			○					
		3909	家庭科内容論	1					小					○			
		3910	体育科内容論	1					小						○		
		3911	国語科教育法	2					小					○			
		3912	算数科教育法	2					小					○			
		3913	外国語科教育法	2					小						○		
		3914	社会科教育法	2					小					○			
		4915	理科教育法	2					小							○	
		4916	生活科教育法	2					小							○	
		2917	音楽科教育法	2					小				○C				
		2918	図画工作科教育法	2					小				○C				
		3919	家庭科教育法	2					小						○		
		4920	体育科教育法	2					小							○	
		3921	道德教育の理論と実践	2					小						○		
		3922	総合的な学習の時間の指導法	2					小					○			
		3923	特別活動の指導法	2					小						○		
		3924	生徒指導・進路指導の理論と実践	2					小						○		
		4925	教育実習事前事後指導Ⅱ(小)	1					*							○	○
		4926	教育実習Ⅱ(小)	2	外				*							○	(注6) (○)

(注5) 小学校教育プログラムは、小学校教諭教職課程履修者のみ履修可能である。また、副免許として小学校教諭一種免許状を取得するには、科目一覧表(3)の科目に加えて、科目一覧表(1)中の小学校教諭免許に関する必修科目の単位を修得する必要がある。

(注6) (○) の学期に開講されることがある。

付表

(付表1) …小学校教諭一種免許状取得に関わる科目

(注1)

		免許法施行規則に定める科目				単位数		形態		免許等 必修単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備考		
		左の科目に含めることが必要な事項		本学の開設授業科目								前期		後期		前期		後期				
基礎教育科目	66条の6に定める科目	日本国憲法		日 本 国 憲 法		2	講義	小	2	○												
		外国語 コミュニケーション		外国語コミュニケーションⅠ		1	演習	小	2				○									
				外国語コミュニケーションⅡ		1	演習	小						○								
		数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作		教 育 と I C T		2	演習	小	2	○												
				体 育 I		1	講義	小	2	○												
		体育		体 育 II		1	実技	小			○											
専門教育科目	第二欄	・教科に関する専門的事項		国語(書写を含む。)	国語科内容論	1	講義	小	30		○										1	
				国語科教材論	1	演習	*				○											
				社会	社会科内容論	1	講義	小				○										
				算数	算数科内容論	1	講義	小				○										
				算数科教材論	1	演習	*					○										
				理科	理科内容論	1	講義	小						○	○		○	副				
				生活	生活科内容論	1	講義	小						○	○		○	副				
				音楽	音楽科内容論	1	講義	小					○									
				図画工作	図画工作科内容論	1	講義	小					○									
				家庭	家庭科内容論	1	講義	小					○			○	副					
		体育	体育科内容論	1	講義	小						○		○	副							
		外国語	外国語科内容論	1	講義	小				○												
		英語文学入門	2	講義	*			○														
		国語(書写を含む。)	国語科教育法	2	講義	小								○						2		
		社会	社会科教育法	2	講義	小								○								
		算数	算数科教育法	2	講義	小								○								
		理科	理科教育法	2	講義	小								○			○	副				
		生活	生活科教育法	2	講義	小								○			○	副				
		音楽	音楽科教育法	2	講義	小									○							
		図画工作	図画工作科教育法	2	講義	小									○							
		家庭	家庭科教育法	2	講義	小									○		○	副				
		体育	体育科教育法	2	講義	小											○		○	副		
		外国語	外国語科教育法	2	講義	小										○		○	副			
	第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想		教育原理	2	講義	小	(注2) 12				○									
					教育史	2	講義	*						○								
					教育哲学	2	講義	*						○								
			教職入門	2	講義	小	○											4				
			教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行政学	2	講義	小						○	#								
			教育社会学	2	講義	*	○												5			
			幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学総論	2	講義	小			○												
			発達心理学	2	講義	*	○															
			特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2	講義	小				○											
			教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	講義	小					○								6		
	第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	講義	小	(注3) 12					○			○	副					
			総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	講義	小						○			○	副					
			特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	講義	小							○			○	副				
			教育の方法及び技術	教育方法の理論と実践	2	講義	小						○									
			情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と実践	2	講義	小										○					
			生徒指導の理論及び方法	教育相談の理論と実践	2	講義	小										○					
			進路指導及びキャリア教育の理論及び方法																			

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目	単 位 数	形 態	免許等 必修単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考	
			左の科目に含めることが必要な事項					前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
第五欄	教育実践に関する科目	・教育実習	教育実習Ⅰ（小）	4	外	(小)	4						○				
			教育実習Ⅰ（幼）	4	外	(小)						○					
			教育実習Ⅱ（小）	2	外	*	1							○	(注5) (○)		
			教育実習事前事後指導Ⅰ(小)	1	演習	(小)						○	○				
			教育実習事前事後指導Ⅰ(幼)	1	演習	(小)						○	○				
			教育実習事前事後指導Ⅱ(小)	1	演習	*								○	○		
		・教職実践演習	教 職 実 践 演 習	2	演習	(小)	2									◎	
			保育・教職実践演習	2	演習	(小)										◎	
専門 教 育 科 目	大学が独自に設定する科目		共 生 社 会 論	2	講義	*	(注4) 2	○									
			国 際 教 育 論	2	講義	*			○								
			社 会 調 査 法	2	演習	*			○								
			器 楽 基 礎 Ⅰ	1	演習	*			○								
			人権教育と福祉	2	講義	*				○							
			異文化理解とコミュニケーション	2	講義	*				○							
			海外教育交流実践	1	外	*				○							
			海外教育参加実習指導	1	演習	*				○							
			海外教育参加実習	2	外	*					○	○	○				
			教育フィールドワーク	1	外	*				(注6) (○)	○	○					
			異文化間教育	2	講義	*							○				
			発達障害等教育総論	2	講義	*							○				
			国語科授業研究	1	演習	*								○			
			社会科授業研究	1	演習	*								○			
			算数科授業研究	1	演習	*								○			
			理科授業研究	1	演習	*								○			
			生活科授業研究	1	演習	*								○			
			音楽科授業研究	1	演習	*								○			
			図画工作科授業研究	1	演習	*								○			
			家庭科授業研究	1	演習	*								○			
			体育科授業研究	1	演習	*								○			
			外国語科授業研究	1	演習	*								○			
			データリテラシーと教育	2	講義	*								○			
			教育プログラミング	2	演習	*								○			
			学 級 経 営 論	2	講義	*									○		

備考欄：教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項（含む事項）」を含んでいる科目を示している。

1（書写を含む。） 2（情報通信技術の活用を含む。）（書写を含む。） 3（情報通信技術の活用を含む。） 4（チーム学校運営への対応を含む。）

5（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 6（カリキュラム・マネジメントを含む。） 7（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）

（注1）基礎免許課程と副免許課程で科目の開講年数が異なる場合、副免許履修者に対しては「○副」で開講される。

（注2）「教育の基礎的理解に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。

（注3）「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。

（注4）「大学が独自に設定する科目」は、「教科及び教科の指導法に関する科目」と「教育の基礎的理解に関する科目」と「教育実践に関する科目」の*の科目を併せて2単位以上を修得すること。

（注5）（○）の学期に開講されることがある。

（注6）「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(付表2) …幼稚園教諭一種免許状取得に関わる科目

(注1)

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目	単位数	形態	免許等 必修単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備考					
		左の科目に含めることが必要な事項						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
基礎 教育科目	66 条の6に定める科目	日本国憲法		日 本 国 憲 法	2	講義	幼	2	○												
		外国語 コミュニケーション		外国語コミュニケーションⅠ	1	演習	幼	2			○										
				外国語コミュニケーションⅡ	1	演習	幼					○									
		数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作		教 育 と I C T	2	演習	幼	2	○												
		体育		体 育 I	1	講義	幼	2	○												
				体 育 II	1	実技	幼			○											
専門 教育科目	第二欄	領域及び保育内容の指導法に関する科目	・領域に関する専門 的事項	健 康	子 ども と 健 康	1	演習	(幼)	16					○		○副					
				環 境	子 ども と 環 境	1	演習	(幼)					○		○副						
				人 間 関 係	子どもと人間関係	1	演習	(幼)						○							
				言 葉	子 ども と 言 葉	1	演習	(幼)						○		○副					
				表 現	子どもと音楽表現	1	演習	(幼)					○		○副						
					子どもと造形表現	1	演習	(幼)						○	○副						
					子どもと身体表現	1	演習	(幼)							○	○副					
			・保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保 育 内 容 総 論	2	演習	幼			○								1			
				保 育 内 容・健康	2	演習	幼				○		○副								
				保 育 内 容・環境	2	演習	幼				○		○副								
				保育内容・人間関係	2	演習	幼					○									
				保 育 内 容・言 葉	2	演習	幼					○		○副							
				保育内容・表現(音楽)	1	演習	幼				○	○副									
				保育内容・表現(造形)	1	演習	幼					○	○副								
				保育内容・表現(身体)	1	演習	幼						○	○副							
	第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教 育 原 理	2	講義	幼	(注2) 12				○									
				保 育 原 理	2	講義	*					○									
				教 育 史	2	講義	*								○						
				教 育 哲 学	2	講義	*								○						
			・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教 職 入 門	2	講義	*			○								2			
				保 育 者 論	2	講義	幼			○											
			・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教 育 行 政 学	2	講義	幼						○#					3			
				教 育 社 会 学	2	講義	*			○											
			・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学総論	2	講義	幼				○										
				発 達 心 理 学	2	講義	*			○											
			・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育総論	2	講義	幼				○							4			
				教 育 課 程 論	2	講義	*					○									
			・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程・保育計画論	2	講義	幼					○									
			第四欄	関連する科目 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	教育方法の理論と実践	2			講義	幼	(注3) 6			○					1	
						子ども理解と幼児教育	2			演習	幼					○					
						・幼児理解の理論及び方法	教育相談の理論と実践			2	講義		幼						○		5
第五欄		教育実践に関する科目	・教育実習	教育実習Ⅰ（小）	4	外	(幼)	4					○								
				教育実習Ⅰ（幼）	4	外	(幼)						○								
				教育実習Ⅱ（幼）	2	外	*	1							○	(注5) (○)					
				教育実習事前事後指導Ⅰ（小）	1	演習	(幼)						○	○							
				教育実習事前事後指導Ⅰ（幼）	1	演習	(幼)						○	○							
				教育実習事前事後指導Ⅱ（幼）	1	演習	*								○	○					
			・教職実践演習	教 職 実 践 演 習	2	演習	(幼)	2								◎					
				保育・教職実践演習	2	演習	(幼)									◎					

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目	単 位 数	形 態	免許等 必修単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考
			左の科目に含めることが必要な事項						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
基礎教育科目	第六欄	大学が独自に設定する科目		共 生 社 会 論	2	講義	*	(注4) 14	○								
				国 際 教 育 論	2	講義	*			○							
				社 会 調 査 法	2	演習	*			○							
				器 楽 基 礎 I	1	演習	*			○							
				人権教育と福祉	2	講義	*				○						
				異文化理解とコミュニケーション	2	講義	*				○						
				海外教育交流実践	1	外	*				○						
				海外教育参加実習指導	1	演習	*				○						
				海外教育参加実習	2	外	*					○					
				教育フィールドワーク	1	外	*				(注6) (○)	○					
				器 楽 基 礎 II	1	演習	*						○				
				異 文 化 間 教 育	2	講義	*						○				
				データリテラシーと教育	2	講義	*							○			
				ク ラ ス 経 営 論	2	講義	*								○		
				保 育 英 語	2	講義	*								○		

備考欄：教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項（含む事項）」を含んでいる科目を示している。

1（情報機器及び教材の活用を含む。） 2（チーム学校運営への対応を含む。） 3（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）

4（カリキュラム・マネジメントを含む。） 5（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）

（注1）基礎免許課程と副免許課程で科目の開講年数が異なる場合、副免許履修者に対しては「○副」で開講される。

（注2）「教育の基礎的理解に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。

（注3）「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、法定単位は4単位であるが本学では6単位である。

（注4）「大学が独自に設定する科目」は、「領域及び保育内容の指導法に関する科目」から16単位を超えて履修した科目と、「教育の基礎的理解に関する科目」と「教育実践に関する科目」の*の科目を併せて14単位以上を修得すること。

（注5）（○）の学期に開講されることがある。

（注6）「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(付表 3 - 1) …中学校教諭一種免許状(国語)取得に関わる科目

		免許法施行規則に定める科目		本学の開設授業科目 ○印は一般的包括的内容を含む	単 位 数	形 態	免許等 必修単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考	
		左の科目に含めることが必要な事項						前	後	前	後	前	後	前	後		
基礎教育科目	66 条の6に定める科目	日本国憲法		日 本 国 憲 法	2	講義	中国	2	○								
		外国語 コミュニケーション		外国語コミュニケーションⅠ	1	演習	中国	2			○						
		数理、データ活用及び 人工知能に関する科目 又は情報機器の操作		外国語コミュニケーションⅡ	1	演習	中国				○						
				教 育 と I C T	2	演習	中国	2	○								
		体育		体 育 Ⅰ	1	講義	中国	2	○								
				体 育 Ⅱ	1	実技	中国			○							
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語学（音声言語 及び文章表現に関 するものを含む。）	○ 日 本 語 表 現 Ⅰ	1	演習	中国	28				○				1	
				日 本 語 表 現 Ⅱ	1	演習	中国						○				
				○ 日 本 語 学 概 論 Ⅰ	2	講義	中国					○					2
				日 本 語 学 概 論 Ⅱ	2	講義	(中国)					○					
				日 本 語 文 法	2	講義	(中国)			○							
				日 本 語 の 歴 史	2	講義	(中国)							○			
			国 文 学 (国文学史を含む。)	国 語 科 教 材 論	1	演習	(中国)					○					
				○ 日本近代文学概論	2	講義	中国						○				
				○ 日本古典文学史	2	講義	中国							○		3	
				○ 日本近代文学史	2	講義	中国							○			
				○ 日本古典文学概論	2	講義	中国					○					
				日本古典文学特講	2	講義	(中国)								○		
			漢 文 学	○ 漢 文 入 門	2	講義	中国					○					
				漢 文 学	2	講義	(中国)						○				
				書道（書写を中心とする。)	○ 書 道	2	演習		中国					○			4
		中等国語科教育法Ⅰ			2	講義	中国					○				5	
		中等国語科教育法Ⅱ	2		講義	中国						○					
		中等国語科教育法Ⅲ	2		講義	中国						○					
		中等国語科教育法Ⅳ	2	講義	中国							○					
		専門教育科目	第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育 に関する歴史及び思想	教 育 原 理	2		講義	中国	(注1) 12			○			
教 育 史	2					講義	*						○				
教 育 哲 学	2					講義	*						○				
・教職の意義及び教員の役 割・職務内容（チーム学校 運営への対応を含む。)	教 職 入 門				2	講義	中国	○								6	
	教 育 行 政 学				2	講義	中国					○	#			7	
・教育に関する社会的、制度的又は経 営的事項（学校と地域との連携及び 学校安全への対応を含む。)	教 育 社 会 学				2	講義	*	○									
	・幼児、児童及び生徒の 心身の発達及び学習の 過程				教 育 心 理 学 総 論	2	講義	中国		○							
・特別の支援を必要とす る幼児、児童及び生徒 に対する理解	特 別 支 援 教 育 総 論				2	講義	中国		○								
	・教育課程の意義及び編成の 方法（カリキュラム・マネ ジメントを含む。)				教 育 課 程 論	2	講義	中国				○					8
第四欄	導、道徳、総合的な学習の時間等に関する科目				・道徳の理論及び指導法 ・総合的な学習の時間の指導法 ・特別活動の指導法 ・教育の方法及び技術 ・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 ・生徒指導の理論及び方法 ・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法 ・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。の理論及び方法	道徳教育の理論と実践	2	講義	中国	(注2) 12					○		
		総合的な学習の時間の指導法	2	講義		中国					○						
		特別活動の指導法	2	講義		中国						○					
		教育方法の理論と実践	2	講義		中国					○						
		生徒指導・進路指導の理論と実践	2	講義		中国								○			
			2	講義		中国								○			
		教育相談の理論と実践	2	講義		中国								○		9	

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目 ○印は一般的包括的内容を含む	単 位 数	形態	免許等 必修単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考	
		左の科目に含めることが必要な事項	前						後	前	後	前	後	前	後			
専 門 教 育 科 目	第五欄	教育実践に 関する科目	・教育実習	教育実習事前事後指導(中)	1	演習	中国	5								○	○	
			教育実習(中)	4	外	中国									(注4) ○			
			・教職実践演習	教職実践演習	2	演習	中国	2										◎
	第六欄	大学が独自に 設定する科目		共生社会論	2	講義	*	(注3) 4	○									
				国際教育論	2	講義	*			○								
				社会調査法	2	演習	*			○								
				人権教育と福祉	2	講義	*				○							
				海外教育交流実践	1	外	*				○							
				海外教育参加実習指導	1	演習	*				○							
				海外教育参加実習	2	外	*					○U						
				教育フィールドワーク	1	外	*				(注5) (○)	○C						
				発達障害等教育総論	2	講義	*						○					
				データリテラシーと教育	2	講義	*							○				
				教育プログラミング	2	演習	*							○				
				学級経営論	2	講義	*									○		

備考欄：教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項（含む事項）」を含んでいる科目を示している。
 1 文章表現に関するものを含む。 2 音声言語を含む。 3 （国文学史を含む。） 4 （書写を中心とする。） 5 （情報通信技術の活用を含む。）
 6 （チーム学校運営への対応を含む。） 7 （学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。） 8 （カリキュラム・マネジメントを含む。）
 9 （カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）

- (注1) 「教育の基礎的理解に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。
 (注2) 「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。
 (注3) 「大学が独自に設定する科目」は、「教科及び教科の指導法に関する科目」から28単位を超えて履修した科目と、「教育の基礎的理解に関する科目」の*の科目を合わせて、4単位以上を修得すること。
 (注4) 実習先により、後期に実習期間が設定されることがある。
 (注5) 「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(付表 3 - 2) …中学校教諭一種免許状（英語）取得に関わる科目

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目 ○印は一般的包括的内容を含む	単 位 数	形 態	免許等 必修単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考		
		左の科目に含めることが必要な事項						前	後	前	後	前	後	前	後			
基礎教育科目	66条の6に定める科目	日本国憲法		日 本 国 憲 法	2	講義	中英	2	○									
		外国語コミュニケーション		外国語コミュニケーションⅠ（注1）	1	演習	中英	2			○							
		外国語コミュニケーションⅡ（注1）		1	演習	中英					○							
		数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作		教育とICT	2	演習	中英	2	○									
		体育		体 育 I	1	講義	中英	2	○									
				体 育 II	1	実技	中英			○								
専門教育科目	第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	英 語 学	○ 英 語 学 概 論 I	2	講義	中英	28			○						
					英 語 学 概 論 II	2	講義	(中英)					○					
					英 語 文 法 論 I	2	講義	(中英)						○				
					英 語 文 法 論 II	2	講義	(中英)							○			
				英 語 文 学	○ 英 語 文 学 入 門	2	講義	中英			○							
					英 語 文 学 概 論	2	講義	(中英)						○				
					英語コミュニケーション	○ 英 語 I	2	演習		中英	◎							
						○ 英 語 II	2	演習		中英		◎						
				○ 外国語コミュニケーションⅠ（注1）		1	演習	中英				○						
				○ 外国語コミュニケーションⅡ（注1）		1	演習	中英					○					
				○ 外国語コミュニケーションⅢ		1	演習	中英						○				
				○ 外国語コミュニケーションⅣ		1	演習	中英							○			
				○ ライティングⅠ		1	演習	中英					○					
				○ ライティングⅡ		1	演習	中英						○				
				異文化理解	○ リーディングⅠ	1	演習	中英					○					
					○ リーディングⅡ	1	演習	中英						○				
					○ 異文化理解とコミュニケーション	2	講義	中英				○						
					国 際 教 育 論	2	講義	(中英)			○							
				・各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	異文化間教育	2	講義	(中英)							○			
					中等英語科教育法Ⅰ	2	講義	中英					○					
					中等英語科教育法Ⅱ	2	講義	中英						○				
					中等英語科教育法Ⅲ	2	講義	中英							○			
					中等英語科教育法Ⅳ	2	講義	中英								○		
	第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教 育 原 理	2	講義	中英	(注2) 12			○							
				教 育 史	2	講義	*						○					
				教 育 哲 学	2	講義	*						○					
			・教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教 職 入 門	2	講義	中英		○							2		
				教 育 行 政 学	2	講義	中英					○	#			3		
			・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教 育 社 会 学	2	講義	*		○									
				教育心理学総論	2	講義	中英			○								
			・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発 達 心 理 学	2	講義	*		○									
				特別支援教育総論	2	講義	中英			○								
			・教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教 育 課 程 論	2	講義	中英				○						4	

		免許法施行規則に定める科目		大学の開設授業科目 ○印は一般的包括的内容を含む	単 位 数	形 態	免許等 必修単位数	1 年次		2 年次		3 年次		4 年次		備 考				
		左の科目に含めることが必要な事項						前	後	前	後	前	後	前	後					
専 門 教 育 科 目	第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	・道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	講義	中英	(注3) 12				○								
			・総合的な学習の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	講義	中英				○									
			・特別活動の指導法	特別活動の指導法	2	講義	中英					○								
			・教育の方法及び技術	教育方法の理論と実践	2	講義	中英				○									
			・情報通信技術を活用した教育の理論及び方法																	
			・生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導の理論と実践	2	講義	中英							○						
			・進路指導及びキャリア教育の理論及び方法																	
			・教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と実践	2	講義	中英						○				5			
	第五欄	教育実践に関する科目	・教育実習	教育実習事前事後指導(中)	1	演習	中英	5							○	○				
				教育実習(中)	4	外	中英							(注5) ○						
			・教職実践演習	教職実践演習	2	演習	中英	2								◎				
	第六欄	大学が独自に設定する科目		共生社会論	2	講義	*	(注4) 4	○											
				社会調査法	2	演習	*			○										
				人権教育と福祉	2	講義	*				○									
				海外教育交流実践	1	外	*				○									
				海外教育参加実習指導	1	演習	*				○									
				海外教育参加実習	2	外	*													
				教育フィールドワーク	1	外	*						○	○						
				発達障害等教育総論	2	講義	*				(注6) (○)	○				○				
				データリテラシーと教育	2	講義	*									○				
				教育プログラミング	2	演習	*									○				
				学級経営論	2	講義	*										○			

備考欄：教育職員免許法施行規則に定める「含めることが必要な事項（含む事項）」を含んでいる科目を示している。
1（情報通信技術の活用を含む。） 2（チーム学校運営への対応を含む。） 3（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）
4（カリキュラム・マネジメントを含む。） 5（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）

（注1）「外国語コミュニケーション」と「教科及び教科の指導法に関する科目」の両方に有効な科目である。

（注2）「教育の基礎的理解に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。

（注3）「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」として必要な単位は、法定単位は10単位であるが本学では12単位である。

（注4）「大学が独自に設定する科目」は、「教科及び教科の指導法に関する科目」から28単位を超えて履修した科目と、「教育の基礎的理解に関する科目」の*の科目を合わせて、4単位以上を修得すること。

（注5）実習先により、後期に実習期間が設定されることがある。

（注6）「教育フィールドワーク」は実習先として、国内と海外がある。実習先が海外の場合は、前期又は後期の集中講義として実施する。

(付表 4) …特別支援学校教諭一種免許状取得に関わる科目

		免許法施行規則に定める科目	大学の開設授業科目	単位数	形態	免許等 必修単位数		1 年次		2 年次		3 年次		4 年次	
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
専門 教育 科目	第一欄	特別支援教育の基礎理論に関する科目	特別支援教育基礎理論	2	講義	特	2						○		
	第二欄	特別支援教育領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理・生理・病理	2	講義	特			○					
				肢体不自由者の心理・生理・病理	2	講義	特				○				
				病弱者の心理・生理・病理	2	講義	特					○			
				知的障害教育	2	講義	特				○				
			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	肢体不自由教育	2	講義	特					○			
				病弱教育	2	講義	特						○		
				知的・発達障害教育演習	2	講義	特							○	
			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	肢体不自由教育演習	2	講義	(特)						○		
				病弱教育演習	2	講義	(特)								○
	第三欄	免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	視覚・聴覚障害教育総論	2	講義	特	(注1)		○					
			・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害等教育総論	2	講義	特	6				○			
				重複障害等教育総論	2	講義	特					○			
	第四欄	心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	特別支援学校教育実習事前事後指導	1	演習	特	3							○	○
			特別支援学校教育実習	2	外	特								(注2) ○	

(注 1) 特別支援教育領域以外の領域に関する科目として必要な単位は、法定単位は 5 単位であるが本学では 6 単位である。

(注 2) 実習先により、後期に実習期間が設定されることがある。

(付表 5) …平成30年厚生労働省告示第216号に定める保育士科目に対応する本学の開設科目

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等				
区分	系列	教科目	最低修得 単位数	本学開講科目	授業 形態	単位数		時間数
						必修	選択	
教養科目	教養科目	外国語、体育以外の科目	6	日本国憲法	講義		2	30
				特別支援教育総論	講義	2		30
				教育とICT	演習	2		30
				英語Ⅰ	演習	2		60
				英語Ⅱ	演習	2		60
				外国語コミュニケーションⅠ	演習		1	30
				外国語コミュニケーションⅡ	演習		1	30
		体育（講義）	1	体育Ⅰ	講義	1		30
		体育（実技）	1	体育Ⅱ	実技	1		30
		合 計		8				10 ^(注1)

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等				
区分	系列	教科目	単位数	本学開講科目	授業 形態	単位数		時間数
						必修	選択	
必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保育原理	2	保育原理	講義	2		30
		教育原理	2	教育原理	講義	2		30
		子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	講義	2		30
		社会福祉	2	社会福祉	講義	2		30
		子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	講義	2		30
		社会的養護Ⅰ	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		30
		保育者論	2	保育者論	講義	2		30
	保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	2	発達心理学	講義	2		30
		子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		30
		子どもの理解と援助	1	子ども理解と幼児教育	演習	2		30
		子どもの保健	2	子どもの保健	講義	2		30
		子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	演習	2		30
	保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	2	教育課程・保育計画論	講義	2		30
		保育内容総論	1	保育内容総論	演習	2		30
		保育内容演習	5	保育内容・健康	演習	2		30
				保育内容・環境	演習	2		30
				保育内容・人間関係	演習	2		30
				保育内容・言葉	演習	2		30
				保育内容・表現（身体）	演習	1		30
				保育内容・表現（造形）	演習	1		30
				保育内容・表現（音楽）	演習	1		30
		保育内容の理解と方法	4	子どもと言葉	演習	1		30
				子どもと音楽表現	演習	1		30
				子どもと造形表現	演習	1		30
				子どもと身体表現	演習	1		30
		乳児保育Ⅰ	2	乳児保育Ⅰ	演習	2		30
		乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		30
		子どもの健康と安全	1	子どもの健康と安全	演習	1		30
		障害児保育	2	障害児保育	演習	2		30
		社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	演習	1		30
		子育て支援	1	子育て支援	演習	1		30
	保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2		80
				保育実習Ⅰ（施設）	実習	2		80
		保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導ⅠA	演習	1		30
				保育実習指導ⅠB	演習	1		30
	総合演習	保育実践演習	2	保育・教職実践演習	演習	2		60
	合 計		51				59 ^(注2)	0

告 示 に よ る 教 科 目				当該養成施設における教科の開設状況等				
区分	系列	教 科 目	最低修得 単位数	本学開講科目	授業 形態	単位数		時間数
						必修	選択	
選択必修科目	保育の本質・目的に関する科目	保 育 に 関 す る 科 目	6	教 育 行 政 学	講義	2		30
	人 権 教 育 と 福 祉			講義		2	30	
	教 育 心 理 学 総 論			講義	2		30	
	教 育 方 法 の 理 論 と 実 践			講義	2		30	
	子 ど も と 健 康			演習		1	30	
	子 ど も と 環 境			演習		1	30	
	子 ど も と 人 間 関 係			演習		1	30	
	器 楽 基 礎 I			演習		1	30	
	器 楽 基 礎 II			演習		1	30	
	保 育 英 語	講義		2	30			
	保育実習	保 育 実 習 II	2	保 育 実 習 II	実習	2		80
		保 育 実 習 III		実習		2	80	
		保 育 実 習 指 導 II	1	保 育 実 習 指 導 II	演習	1		30
		保 育 実 習 指 導 III		演習		1	30	
	合 計			9			9	12

(注1) 教養科目の法定単位数は8単位だが、本学では10単位を必修とする。

(注2) 必修科目の法定単位数は51単位だが、本学では59単位を必修とする。

(付表6) …実習について

実習種別	実習施設	単位数	実習日数	時間数 ^(注1)
保育実習 I	保 育 所	2	2 週間	80
	施 設	2	10日間	80
保育実習 II	保 育 所	2	2 週間	80
保育実習 III	施 設	2	2 週間	80

(注1) 保育所や施設で行う学外実習の時間数は、実労働時間で設定される。

4 各課程の到達目標（基礎免許）

(1) 小学校教諭教職課程

小学校教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、各教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	前期には、教育課程の知識を踏まえながら、各教科の内容を中心に、授業の指導法についても理解する。後期には、授業の指導法を中心に、各教科の内容についても理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	前期には、授業の指導法について理解するとともに、これまで学んだ教育の内容と授業の指導法を小学校現場での教育実践に関連付けて考えることができるようにする。後期には、大学で学修した内容を、小学校教育実習での実践に活用できるようにする。また、小学校教育実習での課題を踏まえて、各教科の授業について探究できるようにする。2年次後期と3年次の学修を通して、各教科の授業力量を高め、専門とする教科について探究することができるようにする。
第4年次	前期には、3年次までの学修を踏まえて、自身の専門分野について探究できるようにする。後期には、小学校教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門教科・領域について探究し続けようとする態度を身につける。

(2) 中学校教諭（国語）教職課程

中学校教諭（国語）教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	教育課程の知識を踏まえながら、教科の内容のうち国語学と漢文学を中心に理解する。また、教科の指導法の基礎的な内容を理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	教科の内容のうち国文学を中心に、書道についても理解する。また、教科の指導法の発展的な内容を理解する。2年次から3年次の学修を通して、教科の授業力量を高め、国語科を専門教科として探究することができるようにする。
第4年次	前期には、教科の内容のうち、国文学の発展的な内容を理解する。また、これまで学んだ教育の内容と授業の指導法を中学校現場での教育実践に関連付けて考え、中学校教育実習での実践に活用できるようにする。後期には、中学校教諭教職課程の学修を振り返り、国語科教育について探究し続けようとする態度を身につける。

(3) 中学校教諭（英語）教職課程

中学校教諭（英語）教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、教科の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	教育課程の知識を踏まえながら、教科の内容のうち、英語の言語学的側面を理解するとともに、中学校教員として必要な英語の4技能の基礎を固める。また、教科の指導法の基礎的な内容を理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	教科の内容のうち、英語文法及び英語文学の発展的な内容を理解・考察するとともに、中学校教員として必要な英語の4技能の実践力を高める。また、教科の指導法の発展的な内容を理解し、授業実践につなげる。2年次から3年次の学修を通して、教科の授業力量を高め、英語科を専門教科として探究することができるようにする。
第4年次	前期には、これまで学んだ教科の内容と授業の指導法を中学校現場での教育実践に関連付けて考え、中学校教育実習での実践に活用できるようにする。また、後期には、中学校教諭教職課程の学修を振り返り、英語科教育について探究し続けようとする態度を身につける。

(4) 幼稚園教諭教職課程

幼稚園教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容や、保育の内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	2年次には、教育課程の知識を踏まえながら、保育の指導法を中心に理解する。また、後期には、保育の領域について理解する。2年次を中心に、1年次後期と3年次前期の学修を通して、教育に関わる幅広い視野を身につける。
第3年次	3年次には、保育の領域を中心に理解する。また、前期には、保育の指導法についても理解するとともに、これまで学んだ保育の領域と保育の指導法を幼稚園現場での教育実践に関連付けて考えることができるようにする。後期には、大学で学修した内容を、幼稚園教育実習での実践に活用できるようにする。
第4年次	前期には、3年次までの学修を踏まえて、自身の専門分野について探究できるようにする。後期には、幼稚園教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門領域について探究し続けようとする態度を身につける。

(5) 特別支援学校教諭教職課程

特別支援学校教諭教職課程においては、以下のとおり、各学年・学期の目標を定める。

履修年次	到達目標
第1年次	前期には、教育や教職に対する基本的な内容を理解する。後期には、教育や心理学についての基礎的な内容について理解する。1年次の学修を通して、教育に対する興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第2年次	2年次には、心身に障害のある児童の心理、生理、病理を中心に理解する。また、後期には、心身に障害のある児童の指導法について理解する。2年次の学修を通して、特別支援教育に対して興味関心を高め、主体的に学修に臨むことができるようにする。
第3年次	心身に障害のある児童の心理、生理、病理とその指導法について理解する。また、免許に定められている特別支援教育領域以外の内容について総合的に理解する。これまで学んだ特別支援教育領域の知識と指導法の知識を特別支援学校現場での教育実践に関連付けて考えられるようにする。
第4年次	前期には、心身に障害のある児童の指導法について理解する。後期には特別支援学校教諭教職課程の学修を振り返り、自身の専門領域について探究し続けようとする態度を身につける。